

西洋古代から中世を通じて唯一の女性歴史家による、  
ビザンツ歴史文学の最高傑作！

アレクシオス 1 世  
コムニノス

(在位:1081~1118年)

ローマ帝国の東西分裂から  
ほぼ 700 年、内憂外患が重なり  
衰亡の危機にあったビザンツ帝国を  
建て直した名君とされる。

# アレクシオス

## ΑΛΕΞΙΑΣ

アンナ=コムニニ・著 ☆ 相野洋三・訳

【日本語版『アレクシアス』に寄せて】(井上浩一：大阪市立大学名誉教授)

東西文明の十字路に位置し、数百年の長きにわたって栄華を誇ったビザンツ帝国も、11世紀末から12世紀初期にかけて衰亡の危機に見舞われていた。

国境の彼方から、南イタリアのノルマン人、北方と東方のステップの諸民族など、さまざまな異民族が押し寄せる脅威にさらされ、さらに第一回十字軍の到来でその対処に追われ、国内では、反乱・陰謀・異端が渦巻き、帝国は「息を引き取ろうとしていた」。これらの難局に立ち向かい、帝国を滅亡の危機から救い出した父・皇帝アレクシオス1世の姿を克明に描いた、ビザンツ歴史文学の最高傑作、初の日本語版。詳細な訳註と索引を付す。

【著】アンナ=コムニニ

(1083年12月2日「緋の産室」生まれ～1154/55年頃没)：アレクシオス1世コムニノスの息女。1097年頃、名門の軍事貴族出のニキフォロス=ヴリエニオスと結婚。アレクシオスの死後、アンナの弟ヨアニスが即位。アンナは夫ヴリエニオスを担いでクーデターを企てるも失敗。以後、母の建てた修道院に入り、父アレクシオス1世の治績を綴った畢生の大著『アレクシアス』を著した。西洋古代～中世を通じて唯一の女性歴史家とされる。

【訳】相野洋三(あいの・ようぞう)：

1941年、神戸市生まれ。関西学院大学大学院文学研究科博士課程(西洋史学)単位取得後退学、2002年兵庫県立高校を退職後、「ビザンツ帝国海軍組織の研究」により博士学位(歴史学)取得。著書に『モレアの夢——中世地中海世界とフランク人征服者たち』(碧天舎、2003)、『続モレアの夢——アテネからイスタンブル・近郊』(同、2004)。



# “私の父によって行われたことすべて... 偉大な業績が後世の人々の前から消えてしまわないために、記述しようと決心したのである”

——アンナ＝コムニニ

## アレクシアス——目次

アンナ・コムニニの生涯——日本語訳『アレクシアス』に寄せて（井上浩一）

系図・コムニノス家とドウカス家／付図Ⅰ・帝国東部／付図Ⅱ・帝国西部  
／付図Ⅲ・コンスタンティノープル／凡例

### 序文

■ 第一卷 ■ ミハイル七世ドウカス、ニキフォロス三世ヴォタニアティス治世下における若き將軍アレクシオスの三つの手柄／南イタリアの征服者ノルマン人ロベルトスⅡギスカルドス（ロベール・ギスカール）のギリシア遠征の準備

■ 第二卷 ■ ニキフォロスⅡヴォタニアティス帝に対するコムニノス一族の反乱／アレクシオスの皇帝選出、皇帝敬呼を受ける／一〇八一年四月一日、アレクシオス軍、帝都を掌握

■ 第三卷 ■ アレクシオスならびにイリニドウケナ兩陛下の人となりと容姿／帝都に対する反乱軍兵士の非人道的行為に対するアレクシオス帝の贖罪

■ 第四卷 ■ デイラヒオンの戦い（第一次ノルマン戦争 一〇八一～八五年）の開始／ロベルトスⅡギスカルドス率いるノルマン軍の勝利／アレクシオス、二日二夜をかけてアルパニアの山岳地帯を駆け抜けオフリドへ落ち延びる

■ 第五卷 ■ ロベルトス、イタリアへ帰還／アレクシオス、ギリシア西部・マケドニア・テサリアにおいてロベルトスの息子ヴァイムンドス（ボエモン）のノルマン軍と戦う／二度の敗北の後、一〇八三年秋、ヴァイムンドスに対する初めての勝利

■ 第六卷 ■ アレクシオス、ノルマン人からカストリア（北ギリシア）を奪還／ヴァイムンドス、イタリアへ帰還／アレクシオス、ヴェネツィアへ特権授与／一〇八五年七月、ロベルトス、再度のギリシア遠征の途中、熱病により死去／初子アンナの誕生（一〇八三年十二月二日）／トルコとの戦い／遊牧民スキタイ（パツィナキ）の脅威

■ 第七卷 ■ バルカンにおけるスキタイ（パツィナキ）との戦い／スミルナのアメリカ、ツァハスとの戦い

■ 第八卷 ■ スキタイ（パツィナキ）との戦い／一〇九一年四月、スキタイ（パツィナキ）に対するローマ軍の最終的勝利／アレクシオス帝に対する度重なる陰謀事件の発生

■ 第九卷 ■ スミルナのツァハスとの戦い／クレタとキプロスにおける反乱／セルビア人との戦い／ニキフォロスⅡデイエニススの陰謀／セルビア人の服従

■ 第十卷 ■ 修道士ニコスの異端の登場／バルカンの遊牧民コマニとの戦い／十字軍のはじまり

■ 第十一卷 ■ 第一回十字軍（一〇九六～九九年）／シリアにおける十字軍士たちの活躍／ヴァイムンドス、アンテيوخキアを掌握／ヴァイムンドス、ローマ軍との戦いで苦境に陥り、イタリアへ脱出（一〇一〇年一月）

■ 第十二卷 ■ ささまの国内問題／ヴァイムンドス、デイラヒオンを包囲、第二次ノルマン戦争（一〇一七～一〇八八年）

■ 第十三卷 ■ ブルガリア王族出身のアロン一族の陰謀／ヴァイムンドスに対するアレクシオス帝の最終的勝利／ディアウオリス条約の締結（一一〇八年九月）

■ 第十四卷 ■ トルコ人に対するローマ軍の成功裡の戦い／アンテيوخキアにおける十字軍士に対する対応／アレクシオスの病氣とその原因／アンナの歴史家としての立場／フィリアポリスにおける異端に対するアレクシオス帝の使徒的な働き

■ 第十五卷 ■ アレクシオス帝のトルコ人に対する成功裡の最後の遠征（一一一六年）／コンスタンティノープルの孤児院の再建／ヴォゴミル派の首領ヴァシリオスの裁判と火刑／アレクシオス帝の最後の病と死（一一一八年八月十五日）

訳者あとがき／訳註／関連史料および参考文献／索引

## 図説 ユダヤ・シンボル事典

The ENCYCLOPEDIA of JEWISH SYMBOLS

西欧・中東の文化や思想の基層を形づくってきた豊饒なる象徴の世界！

数千年の歴史の流れのなかで、ユダヤ民族ははぐくんできた豊かな象徴の数々——言葉とイメージが密接に結びついたシンボル群を、百数十点のイラストとともに明快に解説した、わが国初の事典。ユダヤ文化の核心を表現するシンボル 265 項目を厳選、古代の起源から現代まで意味の変遷をたどり解説。



エレン・フランケル [著] ペツィ・P・トイチ [画] 木村光二 [訳]  
A5 判 384 頁 本体6,000円+税 978-4-903487-91-5

## 古代ユダヤ戦争史

聖地における戦争の地政学的研究

旧約聖書が描く聖地での戦争を、現代の地政学と考古学的知見をふまえて分析し臨場感豊かに再現！

二つの大陸を結ぶ聖地パレスティナ（カナン）は、古来重要な戦略的地域であり、旧約聖書は「約束の地」をめぐる戦いの物語に満ちている。イスラエルの軍人であり考古学者、政治家の二人が、百数十点の地図や写真を援用して聖地の戦争を読み解き、数千年の時をこえてなお適用可能な法則を汲み取る。



モルデハイ・ギホン&ハイム・ヘルツォーク [著] 池田裕 [訳]  
四六判 460 頁 本体4,800円+税 978-4-903487-89-2

取り扱い書店・ご担当者様

## アレクシアス

A5 判・856 ページ／本体 8,000 円＋税  
978-4-86582-040-9

(お申し込み冊数)

冊

## 図説 ユダヤ・シンボル事典

A5 判・384 ページ／本体 6,000 円＋税  
978-4-903487-91-5

冊

## 古代ユダヤ戦争史

聖地における戦争の地政学的研究

四六判・460 ページ／本体 4,800 円＋税  
978-4-903487-89-2

冊



TEL 03-3812-6504 FAX 03-3812-7504  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303

<http://www.yushokan.co.jp/>

【取次】トーハン・日販・大阪屋栗田・八木書店・鎌倉書店 ※委託制